

平成 29 年度 防災シンポジウム企画概要

●タイトル

大分の防災を考える in 大分 - 地域における防災・減災力の向上を目指して -

●事業の趣旨

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災を教訓として、防災・減災の実現可能な社会システムの再構築が課題となっています。今後 50 年以内に約 90%の確率で発生が想定されている南海トラフ地震や、毎年のように発生している台風や梅雨前線による風水害、九重山など活動を注視されている火山の存在など、大分には大きな災害をもたらす様々な要因があり、地域の防災・減災力を向上させる取組の強化が求められています。

大分大学と大分高等教育協議会は、平成 23 年度から県内各地で地域における防災・減災を目指す「防災シンポジウム」を開催して参りましたが、県民の防災意識の向上と自治体等の防災・減災対策に少なからず貢献できたのではないかと考えています。

今年度は、大分市において、主に地域における防災リーダー（防災士、役職者等）を対象として本シンポジウムを開催します。（市民一般も可）

●シンポジウム

日時 平成 29 年 11 月 12 日（日） 13:30～

会場 ホルトホール大分（大分市）

プログラム

※敬称略

◆特別講演（50 分）

演題 「災害発生…その時報道の現場は」

講師 OBS 大分放送 記者／古城秀明，アナウンサー／平川侑季

◆パネルディスカッション（80 分）

テーマ 「災害時における地域の役割」

コーディネーター 大分大学工学部 准教授 小林祐司

（大分大学減災・復興デザイン教育研究センター（CERD）代表）

パネリスト 立命館アジア太平洋大学 教授 本田明子

大分大学高等教育開発センター 教授 岡田正彦

大分市女性防災士会 事務局長 上山 容江

大分市防災危機管理課 主査 佐藤 真人

別府市共創戦略室防災危機管理課 課長補佐 田辺 裕

●参加予定者数 200 人程度（定員 300 人）

●関係団体等

主催 国立大学法人大分大学

共催 大分高等教育協議会（地域連携研究コンソーシアム）・大分市

後援 大分県・大分合同新聞